

淀川水系河川整備計画に係る委員会等

淀川水系流域委員会地域委員会  
第2回委員会 (H24.10.17)  
参考資料-3

整理番号	主たる項目						事務所	河川名	①委員会名	②設置年月日	③設置目的	④主な活動内容	⑤委員会メンバー	⑥開催頻度
	人と川とのつながり	河川環境	治水・防災	利水	維持管理	利用								
1	●	●			●		本局	琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会	平成17年4月27日	「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」について、統合的流域管理の視点に立ち、各分野にまたがり地域を越えて各行政機関が協議・調整を行うとともに、再生プログラムの達成度・効果等の評価を行い、再生計画の具体的な推進を図ることを目的とする。	(1)再生計画の推進に係る協議・調整に関すること。 (2)再生計画の再生プログラムの達成度・効果等の評価に関すること。 (3)テーマ毎に行政機関で協議・調整を行う「分科会」の設置に関すること。 (4)その他必要な事項	国の機関 5機関 地方公共団体9機関 計14機関	協議会・幹事会 年1回 分科会 年約3回	
2			●				本局	大阪湾 大阪湾高潮対策協議会	平成19年7月11日	高潮対策を着実に推進しつつ、計画規模を超える高潮により大阪湾沿岸のゼロメートル地帯を中心に大規模浸水が発生した場合を想定し、人命を守り、都市の中核機能や社会・経済機能への影響の回避と早期回復を主眼に、被害最小化のために関係機関が連携して取り組むべき対策を予め検討することを目的とする。	計画規模を超える「不測」の現象としての高潮災害を想定し、人命を重視した被害最小化のための危機管理行動計画等について検討する際、その参考となることを目的に構成機関の持つ防災技術、ノウハウ、知識を結集しガイドライン等を取りまとめる。	国行政機関 5名 府県市自治体16名 公共機関 10名 国土交通省 5名 計36名	不定期	
3		●					本局	—	平成19年3月15日	近畿地方整備局の組織並びに個々の職員の技術力の保持・伝承・向上を図ることを目的とする。	勉強会(現場の課題・問題点を題材にした専門家等の講義、現場の実地調査、産・学との技術情報等の意見交換会等)などを開催している。	近畿地方整備局職員 18名	年1回から3回程度	
4		●	●		●		琵琶湖 淀川 宇治川 瀬田川 桂川 木津川下流 木津川上流	淀川水系総合土砂管理検討委員会	平成18年3月13日	淀川水系における治水・利水・環境を踏まえた総合土砂管理計画として、流域内の現状把握や課題等の整理を行い、土砂管理方針の策定に向けて、必要となる調査や今後の課題等について検討することを目的とする。	土砂管理方針の策定に向けて、必要となる調査や今後の課題等について検討を進めていただいている。	学識経験者5名	年1回程度	
5			●				淀川 宇治川 桂川 木津川下流	水害に強い地域づくり協議会(淀川)	大阪府域 首長会議 平成20年10月9日 京都府域 首長会議 平成16年9月24日	1)自分で守る(情報伝達、避難体制整備)、2)みんなで守る(水防活動、河川管理施設運用)、3)地域で守る(まちづくり、地域整備)の観点から、いかなる洪水に対しても氾濫被害をできる限り最小化するため、施設能力を上回る洪水の発生を想定し危機管理体制を構築・強化することを目的とする。	①行政間における情報共有として、出水時に必要な情報の整理、伝達手法の検討 ②住民意識啓発としての住民勉強会等の実施 ③各種防災訓練の状況などについて行政ワーキングで議論を行い、首長会議に報告している。	大阪府域 行政委員 22名 京都府域 行政委員 22名 計44名	首長会議 年1回 行政ワーキング 年3回程度 住民勉強会等 不定期	
6					●		淀川 宇治川 桂川 木津川下流	淀川維持管理技術検討会	平成20年2月19日	淀川における維持管理の実施にあたり、維持管理計画が効果的・効率的に実施できる計画となるように、又住民の意識や社会情勢の変化に対応し、情勢に見合った的確に見直しを行うなど、河川の状態、変化を把握し、その分析・評価を繰り返すことにより技術的検討を行うことを目的とする。	河川の状態、変化を把握し、その分析・評価を繰り返すことにより技術的検討を行う。	学識経験者等 6名 行政委員 19名 計25名	年1回程度 (必要に応じて適宜開催)	
7		●					淀川 宇治川 桂川 木津川下流	淀川環境委員会	平成9年8月21日	淀川河川事務所が管理する直轄管理区間における「河川環境」(水質、景観、生態系等)の整備と保全に対して、望ましい河川環境を創造するため、必要な指導・助言をいただくことを目的とする。	淀川河川事務所で行う河川工事、環境工事について、自然環境の保全・再生に関する観点から指導・助言をいただいている。	学識経験者等 18名 行政委員 1名 計19名	淀川環境委員会は 年2回開催 下部組織である部会・WGは適宜開催	
8		●					淀川 木津川	近畿地方イタセンバラ保護増殖事業連絡会議	平成9年12月10日	近畿地方におけるイタセンバラ保護増殖事業に係る関係機関相互の緊密な連絡と調整を図り、もって事業の円滑な実施に資することを目的とする。	連絡会議開催による情報共有。	行政委員20名	適宜開催	
9			●				淀川 淀川	城北わんどイタセンバラ協議会	平成11年4月23日	近畿地方イタセンバラ保護増殖事業連絡会議の分科会として、城北わんど群に生息するイタセンバラの保護に関する機関相互の緊密な連絡と調整を図り、もってイタセンバラ保護対策の円滑な推進に資することを目的とする。	城北わんどにおける、イタセンバラ及びその生息環境の保全、調査・研究、その他連携のための必要事項に関して、連絡調整のための協議会を開催する。	行政委員10名	適宜開催	
10	●						淀川 高槻・山崎出張所(大阪府)管内 河川レンジャー運営会議	河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	平成18年5月24日	高槻・山崎出張所(大阪府)管内の地域特性に応じた河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	運営会議に所属する河川レンジャーの活動計画、支援方策及び展開計画(案)などを決定し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	学識経験者等 3名 行政委員 6名 河川レンジャー 6名 計15名	年2回程度	
11	●						淀川 枚方出張所管内河川レンジャー運営会議	河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	平成18年6月20日	枚方出張所管内の地域特性に応じた河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	運営会議に所属する河川レンジャーの活動計画、支援方策及び展開計画(案)などを決定し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	学識経験者等 3名 行政委員 5名 河川レンジャー 6名 計14名	年2回程度	
12	●						淀川 福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議	河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	平成18年6月7日	福島・毛馬出張所管内の地域特性に応じた河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	運営会議に所属する河川レンジャーの活動計画、支援方策及び展開計画(案)などを決定し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	学識経験者等 5名 行政委員 6名 河川レンジャー 9名 計20名	年2回程度	
13			●		●		淀川 淀川	淀川大堰開門検討委員会	平成12年8月21日	兵庫県南部地震を教訓に、地震等災害時に有効な水上からの緊急輸送の航路を確保するため、現在淀川の上下流を分断している淀川大堰に、船で行き来できる開門施設を設置するにあたり、開門の必要性について明確にした上で、開門の基本設計(位置、規模、形式等)を決定する事を目的とする。	淀川大堰開門についての環境影響評価、費用対効果の評価検討、基本設計について、審議している。	学識経験者等 5名 行政委員 3名 計8名	過去5回開催 今後は未定	
14			●		●		淀川 淀川	淀川大堰開門構造検討分科会	平成16年9月2日	淀川大堰開門委員会の下部組織として、淀川大堰開門基本設計における構造、環境影響等について検討する事を目的とする。	分科会として開門の構造について議論をいただいている。	学識経験者等 7名 行政委員 4名 計11名	過去4回開催 今後は未定	
15	●	●			●		淀川 淀川	淀川河川公園下流域地域協議会	平成23年3月2日	淀川河川公園において淀川河川公園基本計画の理念を実現するため、淀川河川公園の利用に関する様々な意見を聞き、各地区におけるゾーニング計画の実現や、具体的な整備や管理運営への反映について協議を行うことを目的とする。	モデル地区を選定し、地区ごとの整備計画を策定する。	地元住民代表 7名 河川レンジャー 1名 学識経験者等 2名 行政委員 3名 計13名	年2回程度	
16	●	●			●		淀川 淀川	淀川河川公園上流域地域協議会	平成22年3月10日	淀川河川公園において淀川河川公園基本計画の理念を実現するため、淀川河川公園の利用に関する様々な意見を聞き、各地区におけるゾーニング計画の実現や、具体的な整備や管理運営への反映について協議を行うことを目的とする。	モデル地区を選定し、地区ごとの整備計画を策定する。	地元住民代表 3名 河川レンジャー 1名 学識経験者等 2名 行政委員 6名 計12名	年2回程度	
17	●	●			●		淀川 淀川	淀川河川公園中流右岸地域協議会	平成22年3月5日	淀川河川公園において淀川河川公園基本計画の理念を実現するため、淀川河川公園の利用に関する様々な意見を聞き、各地区におけるゾーニング計画の実現や、具体的な整備や管理運営への反映について協議を行うことを目的とする。	モデル地区を選定し、地区ごとの整備計画を策定する。	地元住民代表 2名 河川レンジャー 1名 学識経験者等 2名 行政委員 5名 計10名	年2回程度	
18	●	●			●		淀川 淀川	淀川河川公園中流左岸地域協議会	平成23年2月21日	淀川河川公園において淀川河川公園基本計画の理念を実現するため、淀川河川公園の利用に関する様々な意見を聞き、各地区におけるゾーニング計画の実現や、具体的な整備や管理運営への反映について協議を行うことを目的とする。	モデル地区を選定し、地区ごとの整備計画を策定する。	地元住民代表 3名 河川レンジャー 1名 学識経験者等 2名 行政委員 7名 計13名	年2回程度	
19		●			●		淀川 淀川	淀川下流域の河川環境上望ましい流量に関する検討会	平成17年8月4日	淀川下流域の将来にわたる望ましい姿への展望を考慮して、河川管理者、有識者及び利用者等が集まり、今後20～30年間の望ましい流量及び運用について検討することを目的とする。	淀川下流域における河川環境上望ましい流量について議論していただいている。	学識経験者等 6名 利用者等 2名 行政委員 5名 計13名	過去6回開催 (H17.2回、H18.1回、 H19.3回)	
20	●						淀川 淀川	淀川管内河川レンジャー代表者会議	平成21年2月4日	運営会議及びレンジャー会議が活力ある組織として力を発揮でき、河川レンジャーが定着し発展するように、河川レンジャーの取組を総括することを目的とする。	2月、8月の年2回開催し、河川レンジャーの仕組み、基準、河川レンジャーの審査や各運営会議から提案された事項の検討や河川レンジャーへの指導及び助言などを行い、河川レンジャー候補者の審査やレンジャー運営要領の見直し等を実施し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	学識経験者等8名 行政委員 4名 計12名	年2回程度	
21	●	●	●		●		淀川 淀川	淀川三川合流域事業調整連絡会	平成21年10月	行動計画に記載された事業及びその他の三川合流域の地域活性化に資する事業の効果的な事業効果の発現、事業の早期実現を図るため、現場レベル調整を行うことを目的とする。	行動計画に記載された事業の早期実現を図るため、現場レベルの調整を行う。	行政委員27名	年3回程度 今後は未定	
22	●	●	●		●		淀川 淀川	淀川三川合流域地域づくり推進協議会	平成19年12月	淀川三川合流域の美しい景観、豊かな自然・歴史文化環境を保全しつつ地域を活性化していくことを目的とする。	「淀川三川合流域地域づくり構想」実現に向けた行動計画」策定し、地域活性化に向けた取組を行う。	行政委員15名	必要に応じて開催	
23	●	●			●		淀川 淀川	淀川舟運整備推進協議会	平成12年11月15日	淀川における舟運整備事業の推進を図り、地域の発展に寄与することを目的とする。	淀川舟運および舟運関連施設の整備や事業等の推進に係る要望や淀川舟運を活用した地域の街づくりに関する情報交換・連絡調整等を行う。	行政委員 10名	年3回	

整理番号	主たる項目					事務所	河川名	①委員会名	②設置年月日	③設置目的	④主な活動内容	⑤委員会メンバー	⑥開催頻度
	人と川とのつながり	河川環境	治水・防災	利用	維持管理								
24	●					本局	淀川	淀川水質汚濁防止連絡協議会	昭和46年9月21日	淀川水系の河川及び水路について水質を調査し、その実態を把握するとともにその汚濁の機構を明らかにし、流域の水質管理上必要な水質管理の方法並びに汚濁対策について検討し、相互に連絡調整を図ることによって、淀川の河川水質改善の実効をあげることを目的とする。	①関係各機関で実施された工場排水の規制、下水道整備状況と将来計画、水質現況等についてのとりまとめ。 ②琵琶湖の生物障害等調査や河川の水質機構についての調査研究。 ③水質事故対応講習会の実施及び緊急時における措置(連絡・対策)。	学識経験者等9名 行政関係者等53名 (24機関) 計62名	総会 年1回 水質保全委員会 年1回 小委員会 年8回程度 現地調査等 年4回程度 講習会 年6回程度 (神崎川水質汚濁対策連絡協議会と合同で実施)
25					●	淀川	淀川	淀川本川河川保全利用委員会	平成16年12月7日 準備会議	淀川水系淀川[淀川河口～大阪京都府界]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占用のあるべき姿について検討を行い、占用施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占用許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識経験者等 7名 行政委員 2名 計9名	年1回 委員会11回開催
26	●					淀川	宇治川 桂川	伏見・桂川・山崎出張所(京都府)管内河川レンジャー運営会議	平成18年5月8日	伏見・桂川・山崎出張所(京都府)管内の地域特性に応じた河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	運営会議に所属する河川レンジャーの活動計画、支援方策及び展開計画(案)などを決定し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	学識経験者等 5名 行政委員 15名 河川レンジャー 6名 計26名	年2回程度
27					●	淀川	宇治川	宇治川河川保全利用委員会	平成16年11月9日 準備会議	淀川水系宇治川[大阪京都府界～天ヶ瀬ダム]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占用のあるべき姿について検討を行い、占用施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占用許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識経験者等 5名 行政委員 2名 計7名	年1回 委員会11回開催
28		●	●			淀川	宇治川	塔の島地区河川整備に関する検討委員会	平成17年9月8日	今日までに検討されている宇治川塔の島付近の最大流量1,500m <sup>3</sup> /sを目安として、流下能力の増大をはかりつつ景観や自然環境の保全に資するとともに、新たな景観創出につながる防災や地域社会への貢献ができる整備案について、検討を行うことを目的とする。	当該地区の整備内容について報告	学識経験者等 11名 行政委員 3名 計14名	過去6回開催
29			●	●		淀川	宇治川	塔の島地区景観構造検討会	平成21年6月11日	塔の島付近の宇治川は、琵琶湖から淀川につながる治水上重要な区間であり、当地区の流下能力を増大することは淀川水系河川整備計画においては緊急かつ重要な課題となっている。 本検討会は、これまでに検討された当地区における事業計画を踏まえ、これから改修する護岸及び橋梁等の構造やデザインに関する詳細について専門的に検討することを目的とする。	当該地区の整備内容について報告し、構造やデザインに関して議論いただいている。	学識経験者等 5名 行政委員 2名 計7名	過去6回開催
30	●	●	●	●		淀川	桂川	桂川嵐山地区河川整備検討委員会	平成24年7月23日	嵐山地区の平成16年台風23号洪水対応における河川整備について、治水・環境・景観・観光等に関する助言等を行い、観光産業への影響を含め、景観や利用に配慮した河川整備の計画について検討を行うことを目的とする。	嵐山地区について、学識経験者や行政を交えて観光産業への影響も含めた、景観や利用に配慮した河川整備の計画について検討を行う。	学識経験者等 8名 行政委員 3名 計11名	年4回程度 7月23日に第1回開催
31					●	淀川	桂川	桂川河川保全利用委員会	平成16年9月14日 準備会議	淀川水系桂川[京都府大山崎町(大阪京都府界)～京都市右京区(渡月橋)]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占用のあるべき姿について検討を行い、占用施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占用許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識経験者等 5名 行政委員 2名 計7名	年1回 委員会10回開催
32	●	●	●	●	●	淀川	桂川	桂川下流域ワークショップ	平成22年3月12日	桂川改修に当たり、淀川水系河川整備計画に位置づけられた「住民参加推進プログラム」の実践として、地域の皆さんと共に目指すべき桂川の将来像について議論し、桂川の将来像を考え、事業を進めていく事を目的とする。	議論した桂川の将来像を実現するために、事業の進捗に合わせ、実施状況を報告し、今後の進め方を議論する。	地元住民代表 20名 河川レンジャー 3名 河川管理者 3名 計26名	不定期 過去5回開催
33		●				淀川	木津川下流	河川生態学術研究会木津川グループ	平成10年12月11日	新しい河川管理の検討として総合的な研究を進めるよう河川生態学術研究会を創設し、同一地点において長期にわたる系統的・時系列的なモニタリングを実施するため全国に設定された数カ所(現在6河川)の内、砂河川研究地区として木津川が選定された。	砂河川に特有な生態系を構成するシステムの解明に向けてさまざまな研究が行われている。	学識経験者19名	H10～21にかけて研究会など39回開催
34					●	淀川	木津川下流	木津川下流河川保全利用委員会	平成16年5月25日 準備会議	淀川水系木津川下流[京都府八幡市(大阪京都府界)～京都府相楽郡笠置町(笠置橋下流端)]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占用のあるべき姿について検討を行い、占用施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占用許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識経験者等 5名 行政委員 2名 計7名	年1回 委員会18回開催
35	●					淀川	木津川下流	木津川出張所管内河川レンジャー運営会議	平成18年6月21日	木津川出張所管内の地域特性に応じた河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的とする。	運営会議に所属する河川レンジャーの活動計画、支援方策及び展開計画(案)などを決定し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	学識経験者等 2名 行政委員 9名 河川レンジャー 4名 計15名	年2回程度
36		●				木津上	木津川	木津川上流域水質管理検討会	平成21年1月27日 第1回開催	今後の流域一体となった水質管理における木津川上流域の目指すべき方向性(将来像)の設定や木津川上流域水質管理協議会(仮称)の設立に向けた枠組みについて、意見交換を行い、流域一体水質管理体制の確立に向けた取り組みについて協議することを目的とする。	・水質管理目標の設定に向けた意見交換 ・わかりやすい水質指標(木津川上流版)の実施 ・社会実験の実施要領の案内	行政機関 15団体 民間団体 7団体	H20年度は2回開催
37	●	●	●	●	●	木津上	木津川上流	木津川上流河川環境研究会	平成16年3月10日	木津川上流域(直轄管理区間)における河川環境の整備と保全に関する方向性について、必要な指導・助言をいただく。	河川の縦横断方向の連続性回復、河道内樹林管理などについて専門家としての助言を頂いている。	学識経験者7名	河川環境研究会は年2回開催 下部組織である部会は適宜開催
38	●					木津上	木津川上流	木津川上流管内河川レンジャー会議	平成20年8月4日	地域の特性に応じた河川レンジャー及びその活動のあり方の検討や、年間活動計画(案)の審議、河川レンジャーに対する助言、支援を行うことを目的とする。	河川レンジャーの年間活動計画の審議、レンジャー活動のあり方の議論、情報共有を行うことを目的とする。	行政委員 7名 河川レンジャー5名 計12名	年2回程度
39	●					木津上	木津川上流	木津川上流管内河川レンジャー懇談会	平成20年8月4日	レンジャー会議及び事務局からの報告及び提案を受けた事項に関する討議をおこない、河川レンジャーのよりよい活動に向けて、その制度、支援のための方策、レンジャーのあり方、役割及び事業計画等について提言をおこなうことを目的とする。	河川レンジャー活動について、運営要領の改正等、制度全般についての審議を目的とする。	学識経験者 3名 行政委員 5名 河川レンジャー1名 計9名	年1回程度
40	●					木津上	木津川上流	木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会	平成20年8月4日	河川レンジャーの任命にあたって別途定める審査要領(案)に基づき、公平中立な立場で河川レンジャー希望者の新任及び既存の河川レンジャーの再任についての審査を行うことを目的とする。	河川レンジャー希望者の新任、既存の河川レンジャーの再任について、活動内容の採点、意見を頂くことを目的とする。	学識経験者4名 行政委員 2名 計6名	年1回程度
41			●			木津上	木津川上流	(木津川上流管内)水害に強い地域づくり協議会準備会	H16.2.24 準備会発足 協議会は未設立	流域単位の治水に関する協議会。減災を目的として、国・県・市町村、河川管理と水防活動との横の連携強化を図ることを目的とする。	ハザードマップ作成、土地利用規制等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から効果的に運用、実行できることを目的とする。	河川管理者 関係機関	未定
42	●					木津上	木津川上流	木津川流域水環境管理ワークショップ	平成18年3月10日	木津川上流域において、適正な水質管理に向けて市民と行政が連携・協働して取り組む上での課題や今後の水環境管理の方向性を探ることを目的とするもの。	水環境の課題について市民と行政との連携方策について考えることを目的とする。	NPO団体7名 流域自治体4団体	過去2回開催
43					●	猪名川	猪名川 藻川	猪名川・藻川河川保全利用委員会	平成18年3月29日	淀川水系猪名川及び藻川の猪名川河川事務所直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性に配慮しつつ、川らしい自然環境の保全・再生する観点に立って、公園等の占用のあるべき姿について検討を行い、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的とする。	公園などの占用施設の新設及び更新の許可にあたっては学識経験者等から「河川敷における公園のあるべき姿」について意見を頂き検討を行っている。	学識経験者 3名 河川レンジャー1名 計4名	年1回から3回
44	●					猪名川	猪名川	(猪名川管内)河川レンジャー運営検討委員会	平成17年7月	地域固有の情報や知識に精通している住民・住民団体、学識経験者と連携し、河川に係わる人材育成の支援や環境教育を推進することを目的とする。	レンジャー活動は8年目に入り、検討会で意見を頂き実活動に反映している。	学識経験者3名 河川管理者4名 河川レンジャー4名 行政委員10名 計21名	年1回程度
45	●	●				猪名川	猪名川	猪名川自然環境委員会	平成16年1月15日	猪名川流域における自然環境の整備と保全について、河川管理者に対し指導・助言を行うことを目的とする。	猪名川河川環境の望ましい姿(環境目標)について審議し、自然再生計画を踏まえた治水・維持管理等の河川整備についてモニタリング手法の検討、評価、及びそのために必要助言を頂いた。	学識経験者10名	年2回
46		●	●			猪名川	猪名川	猪名川総合土砂管理委員会	平成17年9月15日	土砂動態から見た今後河川事業により予想される課題(環境影響等)を明らかにし、また適正な土砂管理方策等について河川管理者に対し指導・助言を行うことを目的とする。	河床変動データを元に河床変動モデルの精度向上に関する指導・助言を頂いた。	学識経験者4名	年1回

整理番号	主たる項目					事務所	河川名	①委員会名	②設置年月日	③設置目的	④主な活動内容	⑤委員会メンバー	⑥開催頻度
	人と川とのつながり	河川環境	治水・防災	利水	維持管理								
47		●				猪名川	猪名川	猪名川流域水質管理検討会	平成21年3月18日	「猪名川流域水質管理行政意見交換会」や「猪名川勉強会」において意見交換してきた流域内の一体的な水質管理を住民と行政が連携・協働して取り組む上での課題等を踏まえ、今後の流域一体となった水質管理における猪名川流域の目指すべき方向性(将来像)や水質管理体制のあり方について、意見交換を目的に開催するものである。	猪名川流域の水質管理体制の構築等に関する検討を行う。	行政機関10機関 水資源機構	年3回～4回
48		●				猪名川	猪名川	猪名川流域水質管理行政意見交換会	平成18年11月8日	住民団体、学識者、流域自治体等の情報共有・意見交換等を行いながら、現在の水質汚濁防止協議会をさらに発展させ、設立を予定している「(猪名川)水質管理協議会(仮称)」の準備会開催に向けて、今後の水質管理施策の方向性を探ることを目的とする。	猪名川の水環境管理のあり方に関する意見交換等を行う。	行政機関6機関	年2回
49			●			猪名川	猪名川	猪名川流域総合治水対策協議会	昭和55年9月1日	流域の都市化に伴い治水の安全度が低下している猪名川流域において、土地の適正な利用計画等、総合的な治水対策のための諸施策を協議のうえ策定し、かつその施策を推進することにより水害を防止し、また軽減を図ることを目的とする。	より確実かつ効果的な被害軽減対策を構築すべく専門部会を設け、情報伝達や避難体制の構築に関する検討・推進を行っている。また、まるごとまちごとHMの拡充設置、住民勉強会の開催推進など住民の水防意識啓発に関する活動等を行っている。	流域内の府県市町、近畿地方整備局、独立行政法人水資源機構14機関	協議会・幹事会 年1回 専門部会 年3回程度
50		●				猪名川	猪名川	猪名川流域水環境管理ワークショップ	平成17年12月9日	住民団体、学識者、流域自治体等の情報共有・意見交換等を行いながら、設立を予定している「(猪名川)水質管理協議会(仮称)」の準備会開催に向けて、今後の水質管理施策の方向性を探ることを目的とする。	猪名川の水環境管理のあり方に関する意見交換等を行う。	住民団体3名 学識経験者1名 行政機関6機関	年3回
51		●				猪名川	猪名川	神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会	平成22年2月17日	この分科会は、猪名川流域の水循環をふまえた統合的な流域水質管理システム構築をめざし、流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し行動することを目的とする。	猪名川流域の水質管理の方向性と目標の決定や猪名川水環境シンポジウムなどの活動内容について検討を行っている。	河川レンジャー1名 行政関係者13名 水資源機構1名 NPO団体6名	年2回
52		●			本局	神崎川	神崎川水質汚濁対策連絡協議会	昭和44年4月18日	神崎川ならびにこれに流入もしくはこれから分派する河川及び水路について水質調査し、その実態を把握すると共にその汚濁の機構を明らかにし、河川管理上必要な水質管理の方法並びに汚濁防止対策について検討し、神崎川水質改善の実効をあげることを目的とする。	①関係各機関で実施された浸透事業、工場排水の規制、下水道整備状況と将来計画のとりまとめ。 ②水質自動監視装置による監視状況、水質現況、一庫ダム貯水池の生物発生状況のとりまとめ。 ③河川愛護・河川美化活動のとりまとめ。 ④水質事故対応講習会の実施及び緊急時における措置(連絡・対策)。	学識経験者等 2名 行政関係者等 34名 (21機関) 計36名	委員会 年1回 幹事会 年1回 講習会 年6回程度 (淀川水質汚濁防止連絡協議会と合同で実施)	
53	●				琵琶湖	瀬田川	瀬田川水辺協議会	平成16年2月23日	瀬田川の既存棧橋・係留施設の集約・共有化や水辺利用のあり方を中心に、瀬田川に関するテーマについて、地域住民・団体・自治体・河川管理者が協議し、その内容を今後の河川行政に反映させることを目的とする。	瀬田川の水辺利用や景観等については、「瀬田川のあるべき姿」として提言をいただき、瀬田川の水辺利用のルールを「瀬田川との約束」として提言されたものを小冊子にまとめ行政・住民に示された。また、当委員会主催により地域住民等を中心に瀬田川一斉清掃を年1回実施している。	学識経験者2名 地元見識者10名 行政関係者6名 計18名	年1回程度	
54				●	琵琶湖	琵琶湖	河川保全利用委員会(琵琶湖)	平成16年11月7日	占用施設の新設及び更新の許可にあたり、周辺環境・地域性に考慮し、川らしい自然環境を保全再生することを重視する観点から、河川管理者に意見を述べることを目的とする。	占用施設の新設及び更新の許可にあたり、「川でなければできない利用、川に活かされた利用」を尊重する立場から、意見をいただいている。	学識経験者5名 行政関係者1名 地元見識者2名 計8名	年4回程度	
55			●		琵琶湖	琵琶湖(甲賀)	甲賀圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	平成23年3月16日	水害や土砂災害による被害を軽減するために国・県とともに設置するもので、専門的な学識経験等に基づき助言を得るとともに、自助・共助・公助が一体となった対策を検討することを目的とする。	避難判断支援資料の検討や水害に強い地域づくり計画の検討等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から効果的に実行、支援できるよう学識者から助言を得ている。	学識経験者1名 行政関係者10名 計11名	年2回程度	
56			●		琵琶湖	琵琶湖(湖北)	湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	平成19年11月1日	洪水や土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図ることを目的とする。	広域避難計画、自主防災組織の活動等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から効果的に実行、支援できるよう学識者から助言を得ている。	学識経験者2名 行政関係者10名 計12名	年2回程度	
57		●			琵琶湖	琵琶湖	南湖再生ワーキンググループ	平成18年7月7日	水質の悪化や外来種の増加等によって生態系が危機的状況にあり、琵琶湖・淀川流域圏の再生計画には、自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクトについて様々な取り組みの記載がされている。近年特に、琵琶湖漁業の漁獲高の減少、ヨシ帯等湖岸域の保全、外来種の繁殖、水草の異常繁茂、水質の浄化、砂浜等の親水施設等が山積している状況である。このため、これらの課題抽出、対応方針の検討、事業実施の連携及び調整、事業進捗の確認、情報交換等を行うことを目的とする。	南湖を再生するに当たっては、浸透等による湖底環境整備、水質異常繁茂対策、点源・面源からの流入負荷対策等様々な取り組みが必要であるが、各課題に関し、各機関が取り組んでいる調査、研究、対策について情報共有・交換し、これらが有効かつ効果的に実施されるよう連携及び調整を行う。①産卵環境に配慮した瀬田川洗堰操作②ヨシ群落保全・再生事業③水草異常繁茂対策④魚のゆりかご水辺整備事業	行政関係者24名	年1回程度	
58			●		琵琶湖	琵琶湖(東近江)	東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	平成20年11月5日	琵琶湖及び琵琶湖流入河川の洪水により、将来にわたって人命被害を含む壊滅的な被害が生じる恐れのある地域を対象に、「自分で守る」「みんなで守る」「地域で守る」の視点に立った水害・土砂災害対策を検討することを目的とする。	水害に備える意識の向上、避難判断水位の設定、まるごとまちごとハードマップ実施等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から検討手法等について学識者から助言を得ている。	学識経験者2名 行政関係者12名 計14名	年2回程度	
59		●			琵琶湖	琵琶湖	琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度	平成16年3月6日	本制度の主旨に則り、「アドバイザー会議」と「専門家グループメンバー」によって構成され、さらに個別課題について3つのワーキング(瀬田川及び天ヶ瀬再開発環境WG、姉川・高時川河川環境WG、水陸移行帯WG)が設置されており、河川管理者が「淀川水系河川整備計画」に係わる調査及び事業を実施・検討する際等に、学識経験者から指導・助言を受けることを目的とする。	アドバイザー会議において、本制度の運営全般に関する指導、助言を頂いている。特に、個別課題として設置した3つのワーキング(瀬田川及び天ヶ瀬再開発環境WG、姉川・高時川河川環境WG、水陸移行帯WG)について指導・助言を頂いている。	アドバイザー会議 学識経験者4名 専門家グループメンバー 学識経験者14名	年1回程度	
60	●				琵琶湖	琵琶湖	((琵琶湖管内)河川レンジャーアドバイザー委員会) (琵琶湖管内)河川レンジャー制度運営委員会	平成18年4月6日 平成22年1月20日名称変更	琵琶湖河川レンジャーは琵琶湖河川事務所管轄の区域及びその周辺で地域の方々や信頼関係を「築き」「活かす」ネットワークづくりを行い、ネットワークを活かした住民・行政との連携・協働を行う者として活動する。本委員会は、その河川レンジャー制度の発展に寄与することを目的とする。	河川レンジャー制度の運用の検討、任命及び解任、活動等にかかる審査等を行っている。	学識経験者3名 地元見識者4名 行政関係者2名 計9名	年4回程度	
61		●			琵琶湖	琵琶湖	琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会	平成17年8月23日	琵琶湖固有種であるコウホナ、ケノコウホナやホトトギスを増やすための効果的な整備を含めた対策を行うため、高島市域の農業、漁業、河川管理者の関係機関が連携し、対策に関する協議・調整、各機関が実施する整備の事業内容、調査・検討、モニタリングなどの情報交換を図ることを目的とする。	年1回総会を実施し当年の計画を協議する。	地元見識者8名 行政関係者3名 計11名	年1回程度	
62			●		琵琶湖	琵琶湖(湖南)	琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	平成16年8月3日	流域の住民自らが洪水被害を回避できるようなシステムづくりや水防活動や避難行動を支援するための整備を検討するとともに、さらには、地域整備の観点から土地利用の規制・誘導等を含めた被害を軽減するための方策を検討することを目的とする。	ハザードマップ作成、土地利用規制等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から効果的に運用、実行できるよう学識者から助言を得ている。	学識経験者3名 行政委員 14名 計17名	年2回程度	
63		●			琵琶湖	琵琶湖	水陸移行帯ワーキンググループ	平成16年3月30日	琵琶湖の望ましい水位変動も含めた水陸移行帯の環境改善についての指導・助言を頂くことを目的とする。	環境に配慮した瀬田川洗堰試行操作に関する取り組みと長期的水位低下が生態系に及ぼす影響について審議をして頂いている。	学識経験者6名	年1回程度	
64	●			●	淀統	淀川流域各ダム	淀川水系ダム水源ネットワーク	平成11年7月25日	淀川流域のダムと地域が連携し、一体となってダムや水源地对する理解を深め、関心を高揚させるための情報発信並びに、広域連携による流域の自然、歴史、文化、ダム湖水辺環境などを基盤とする地域づくり、地域振興を図ることを目的とする。	ダム及び水源地に関わる情報発信・情報交換を行うための「淀川わいわいネット」の改良を行う	府県自治体18名 公共的団体 1名 水資源機構 5名 国土交通省 6名 計30名	年1回程度	
65	●	●		●	本局 ダム管理	近畿地方各ダム	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会	平成19年11月26日	「ダム等の管理に係るフォローアップ制度の実施について」に基づき設置する委員会で、洪水調節実績、利水補給、環境への影響等の調査の実施及び、定期報告書によりまとめられた調査結果の分析・評価について学識経験を有する方から意見を聴き、ダム等の適切な管理に資するとともに、ダム等の効率性及びその実施過程の透明性への一層の向上を図ることを目的とする。	洪水調節実績、利水補給、環境への影響等の調査及びその調査結果の分析と評価について意見を頂いた。	学識経験者 8名	年2回程度	
66			●		琵琶湖 大戸川ダム 水資源	天ヶ瀬ダム 大戸川ダム 川上ダム 丹生ダム	淀川水系ダム事業費等監理委員会	平成21年7月17日	天ヶ瀬ダム再開発事業、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業について、コスト削減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について助言を得ることを目的とする。	各ダム事業のコスト削減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について、学識者から意見や助言を得ている。	学識経験者5名	年1回程度開催	
67		●	●		琵琶湖	天ヶ瀬ダム 宇治川	天ヶ瀬ダム再開発事業生物環境検討会	平成22年8月3日	ダム事業における環境影響評価の考え方に基づき天ヶ瀬ダム再開発事業における環境影響評価をとりまとめるにあたって、直接改変部及びダム下流河川の物理環境や生物環境に関する調査検討の進め方、検討項目、必要なモニタリング、環境保全対策等について指導・助言を行うことを目的とする。	天ヶ瀬ダム再開発に伴う環境影響検討(直接改変部及びダム下流河川宇治川)について指導・助言を頂いている。	学識経験者6名	年3回程度	

整理番号	主たる項目					事務所	河川名	①委員会名	②設置年月日	③設置目的	④主な活動内容	⑤委員会メンバー	⑥開催頻度
	人と川とのつながり	河川環境	治水・防災	利水	維持管理								
68	●				●	水資源	青蓮寺ダム 比奈知ダム	青蓮寺ダム・比奈知ダム 水源地域ビジョン実行連絡会	平成16年2月25日	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とする。	自治体・森林組合・漁協等からダム流域における活動状況報告・意見等をいただいた。	行政関係者 4名 地元関係者21名 計25名 オブザーバー7名	年1回程度
69	●				●	淀川	天ヶ瀬ダム	天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進 連絡協議会	平成17年6月16日	天ヶ瀬ダム水源地域ビジョンを推進し、天ヶ瀬ダム水源地域(大津市、宇治市、宇治田原町)の自立的、継続的な活性化に取り組むことを目的とする。	天ヶ瀬ダム水源地域が有する森林や水辺などの自然環境の持続的な保全と育成、歴史・文化・産業を生かした地域活性化、流域の相互連携と交流ネットワークに関する議論をいただいた。	学識経験者 1名 府県自治体 6名 公共的団体12名 国土交通省 3名 計22名	2・3年に1回程度 (不定期)
70		●				水資源	川上ダム	川上ダム自然環境保全委員会	平成12年8月3日	川上ダム建設事業実施によるオオサンショウウオや希少猛禽類、水質、土砂移動の連続性も含めた自然環境への影響を総合的に評価し、適切な保全対策を検討・実施していくため、専門家から指導助言をいただくことを目的とする。	ダム事業に伴う工事中における環境への影響の監視、保全対策の実施に対する効果の確認、施設の使用に伴う環境の変遷及び影響の把握を行うため、専門家の指導・助言をいただいた。	学識経験者8名	年1回程度
71		●				水資源	川上ダム	川上ダムオオサンショウウオ 調査・保全検討委員会	平成8年8月27日	川上ダム建設事業実施にあたり、国の特別天然記念物オオサンショウウオの生息状況等の調査を行い、適切な保全対策を検討・実施していくため、専門家から指導助言をいただくことを目的とする。	ダム事業に伴う工事中における環境への影響の監視、保全対策の実施に対する効果の確認、施設の使用に伴う環境の変遷及び影響の把握を行うため、専門家の指導・助言をいただいた。	学識経験者5名 行政関係者2名 計7名	年1回程度
72		●				水資源	川上ダム	川上ダム希少猛禽類保全検討 会	平成12年7月12日	川上ダム建設事業実施にあたり、希少猛禽類の生息状況等を調査・把握し、適切な保全対策を検討実施していくため、専門家から指導助言をいただくことを目的とする。		学識経験者3名	年1回程度
73			●			水資源	川上ダム	川上ダム技術検討会	平成20年12月14日	川上ダムの施工計画について高度な技術的見地から検討を行い、ダム建設に遠慮の深い有識者から一層の合理化を進めていくため、指導助言をいただくことを目的とする。	事業費縮減も含めたダム建設の施工計画に対して、技術的な観点から合理化に対する意見・コメントをいただいた。	学識経験者4名	必要に応じて適宜開催
74	●				●	水資源	高山ダム	高山ダム水源地域ビジョン実行 連絡会	平成15年2月26日	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とする。	自治体・漁協等からダム流域における活動状況報告・意見等をいただいた。	行政関係者6名 地元関係者8名 計14名 オブザーバー6名	年1回程度
75		●				水資源	丹生ダム	丹生ダム環境保全対策懇談会	平成17年3月29日	丹生ダム建設予定地周辺の自然環境の保全に配慮しながら事業を進める必要があり、事業の実施に伴う動植物等への影響予測、適切な保全対策の実施、モニタリングについて専門家から指導、助言をいただくことを目的とする。	ダム事業に伴う環境への影響を把握するため、事業実施に伴う環境影響予測、保全対策の実施、モニタリング調査に対する指導・助言をいただくとともに、調査結果のとりまとめに対する指導・助言をいただいた。	学識経験者6名	必要に応じて適宜開催
76	●				●	水資源	布目ダム	布目ダム水源地域ビジョン実行 連絡会	平成14年3月5日	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とする。	自治体・地域開発協会等からダム流域における活動状況報告、活動計画、意見等をいただいた。	行政関係者3名 地元関係者4名 計7名 オブザーバー3名	年1回程度
77	●				●	水資源	一庫ダム	一庫ダム水源地域ビジョン推進 協議会	平成15年4月22日	一庫ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目標とした「一庫ダム水源地域ビジョン」を実行していくため、水源地域の関係自治体、住民等とダム管理者が連絡、調整を図りながら個々の取り組みを進めつつ、ビジョン実施の効果等について評価を行い、必要に応じて内容の見直しを行うことを目的とする。	自治体・地域観光商工会等からダム流域における活動状況報告・取り組みの意見交換を行った。	行政関係者11名 地元関係者7名 計18名	年1回程度
78		●				水資源	日吉ダム	(日吉ダム水源地域ビジョン連絡 会 環境分科会に係る専門部 会) 日吉ダム冷濁水対策検討会	平成17年4月18日	洪水、濁水時における、ダムからの冷水、濁水放流問題に取り組むため、下流河川の状況及び既往調査結果による望ましい水質のあり方についての議論、対応策の抽出・可能性についての検討、対策の方向性を明確にすることを目的とする。	検討会において冷濁水対策方針を審議・検討し、「冷濁水対策マニュアル(案)」を策定した。以降運用における検証を行い、マニュアル(案)の改定等、指導・助言をいただいた。	学識経験者3名 行政関係者3名 地元関係者1名 計7名	年1回程度
79	●				●	水資源	日吉ダム	日吉ダム水源地域ビジョン連絡 会	平成14年5月22日	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とする。	各機関より報告された内容について連絡会メンバーで議論していただいた。	行政関係者3名 地元関係者7名 河川管理者3名 計13名	年1回程度
80				●		淀川	日吉ダム	日吉ダム濁水連絡調整会議	平成12年8月16日	濁水時に河川管理者、関係利水者、関係機関が協議をおこない、対策について連絡調整を行うことを目的とする。	各機関協議のうえ、日吉ダム放流量や関係利水者の取水量の調整等を行う。	行政委員 33名	濁水状況に応じて適宜開催
81				●		水資源	室生ダム	室生ダム水利協議会	平成21年7月1日	河川管理者と関係水利使用者が濁水及び水利用に関する情報交換や意見交換を行うことにより、室生ダムの濁水及び水利用に関する情報を共有し、現状や課題を認識し、河川管理者と関係水利使用者間、又は関係水利使用者間の相互理解を醸成することを目的とする。	各機関協議のうえ、円滑な水利利用を図るよう関係利水者の取水量の調整等を行った。	河川管理者3名 関係利水者5名 行政関係者5名 計13名	年1回程度
82	●				●	水資源	室生ダム	室生ダム水源地域ビジョン実行 連絡会	平成15年2月21日	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とする。	自治体・森林組合・漁協等からダム流域における活動状況報告・意見等をいただいた。	行政関係者 6名 地元関係者13名 計19名 オブザーバー4名	年1回程度